

## 小千谷市総合体育館

訪問日：平成 16 年 11 月 8 日

訪問班：物流システム班（松本）

分類別：復旧・復興状況

キーワード別：道路、輸送、避難所

### 調査結果

- (1) 震災直後は、小千谷市役所前で救援物資を受け入れた。報道などが市役所前の駐車スペースを使用して、物資受入、倉庫の役目を果たさなかった。10 月 31 日、物流基地を「車両センター」へ移動し、効果を挙げた（車両センターでは自衛隊が応援している）。被災 1 週間後に、救援物資の受入を一旦断った。倉庫は最大 13 ヶ所、その後 8 ヶ所に保管する。
- (2) 総合体育館は避難所で、一部破損したサブアリーナを倉庫として使用する。23 日夜、毛布の備蓄が 400 枚あり使用、300 枚を県本部に要請した。当初は水が不足したが、今ではアルファ米、水は残っている。1 週間後に自衛隊が来てくれて、炊きだしの供給を受ける。
- (3) 防災計画マニュアルには物資調達の方法が記述されているが、実際には物資は多量に入ってくる。県が物流拠点を設置して、そこに搬入された物資を市町村が取りに行くシステムが望ましいと考える。